

岐阜県 海津市 × マッチングアプリ「Pairs」 「独身男女の出逢いの機会創出等に向けた連携協定」発表

出逢いを求める独身男女のためのイベントを開催し、ペアーズの利用機会を提供
2023年秋を目処に実施予定

国内最大級※¹の恋活・婚活マッチングアプリ「Pairs」(ペアーズ)を運営する株式会社エウレカ(本社:東京都港区、代表取締役CEO:山本竜馬)は、交際・結婚を希望する独身男女の出逢いの機会創出を目指し、岐阜県の海津(かいづ)市と連携協定を結びました。ペアーズの連携協定は、先に3市での連携協定を発表した関市、美濃加茂市、各務原市に続き、自治体件数では岐阜県では海津市が4例目、全国では5例目となります。(※1 MMD研究所「2022年マッチングサービス・アプリの利用実態調査」2022年9月時点)

ペアーズは、未婚化・少子化課題の解決に寄与すべく、外部関係者や有識者と協働した共同調査の実施や白書の制作、政策提言の実施など様々な取り組みを2019年から実施しています。本協定は、これまで積み上げてきた知見を活かし、自治体との連携により実効力のある少子化・未婚化課題解決に向けた取り組みを実施する試みです。今後、海津市と共に独身男女の出逢いの創出に向け、下記のような取り組みを実施してまいります。



【提携の主な取り組み内容(※予定)】

海津市の未婚男女に恋活・婚活セミナーを開催し、お相手探しのアドバイスやペアーズの利用機会を提供

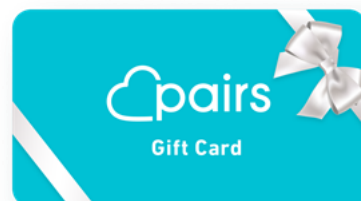
オンラインセミナーの様子(三重県桑名市)

〈セミナーイベントの開催〉

交際・結婚を望む海津市の独身かつ交際相手がいない男女を対象に、マッチングするためのペアーズの使い方、安心安全な利用方法などをレクチャーするセミナーイベントを開催。

〈ペアーズの利用機会の提供〉

セミナーイベント参加者や独身証明書を持参いただいた海津市内の住民を対象にペアーズを約1か月間利用できるデジタルギフトコードをプレゼントし、ペアーズでお相手探しをする機会を提供。



※取り組み内容は検討中であり、変更される場合があります。

岐阜県 海津市 横川真澄市長からのコメント



全国的に人口減少が進む中、海津市においても、若い世代の流出と市内在住者の婚姻率の低下が重なって、人口減少、深刻な少子化を招いている状況にあります。このため、「子育て世代に選ばれる まちづくり」を政策目標とし、子育て世代に魅力ある施策の充実に取り組んでいるところです。

特にコロナ禍においては、日常生活で恋愛につながる出会いが少なく、積極的に相手探しをすることができなかつたことから、マッチングアプリに代表されるネット系婚活サービスの普及が進みました。そして今後も、婚活サービスの利用者は増えると予想されております。

こうした中、本市が抱える人口減少という課題と、業界最大手の株式会社エウレカ様の「ペアーズ」が目指す独身男女の出会いや恋愛の促進、若者の考え方や気持ちに寄り添った婚活支援の考え方が一致し、「独身男女の出逢いの機会創出等に向けた連携協定」を締結する運びとなりました。

今後は、ペアーズが提供するオンラインセミナーやコンシェルジュによる恋愛・結婚相談会などのサービスを活用し、本市における独身男女の婚活支援に取り組んでまいりたいと考えております。

株式会社エウレカ代表取締役CEO 山本竜馬からのコメント



今回、岐阜県海津市様との独身男女の出逢い創出に向けた取り組みを開始できることを嬉しく思います。日本は諸外国と比較してマッチングアプリの利用意向が低く、地方はそれがさらに顕著です。地方自治体との連携は、お相手を求める全国の若者の出逢いと恋愛を促進できるほか、マッチングアプリの信頼獲得と更なる普及にも非常に重要な機会だと考え、2022年より開始しました。

三重県桑名市、岐阜県の関市・美濃加茂市・各務原市の3市連携に続き、自治体数では5例目となる本協定が自治体連携のさらなる良い事例となり、出逢いを求める独身かつ交際相手のいない皆様に支援することによって、海津市における出逢いに向けた“活動人口”の増加、それに伴う地域活性化や、マッチングアプリのさらなる普及が実現できることを期待しています。

参考事例 連携協定事業

人口減少対策に注力する三重県桑名市と2022年11月に連携協定を発表。2023年5月に連携協定事業を開始し、“ペアーズの上手な使い方のレクチャー”や“ペアーズ利用クーポンの配布”を各所で実施しました。



人口減少等の課題に対応する3市広域連携を締結していた岐阜県 関市・美濃加茂市・各務原市と2023年7月13日、ペアーズをハブにした”となりマッチング”連携協定を発表。隣町同士の男女の出逢い促進と地域活性化を目指す取り組みを今後予定。



Pairsについて

2012年10月にリリースされた日本で最も使われている※1恋活・婚活マッチングアプリです。15万件以上のコミュニティや独自のアルゴリズムを基にしたおすす、音声やビデオを通じた会話など、豊富な機能性で相性やフィーリングを確かめ合い、ありのままの自分でいられる“本命の相手”との出逢いを提供します。24時間365日のパトロール監視体制を敷き、安心かつ安全に会員同士で交流できます。2013年10月、台湾版Pairs『派愛族』リリース。2017年9月、韓国版Pairs『페어즈』リリース。2022年4月、累計登録数2,000万突破※2。

※1 [MMD研究所「2022年マッチングサービス・アプリの利用実態調査」](#) 2022年9月時点

※2 2012年のサービス開始以来の累計登録数。2022年4月時点

<https://www.pairs.lv/>

対応端末：iPhone/Android

対応言語：日本語、繁体字中国語、韓国語

サービス地域：日本、台湾、韓国

サービス開始日：2012年10月

価格：ダウンロード無料

開発・運営：株式会社エウレカ

App Store：<https://itunes.apple.com/jp/app/id583376064>

Google Play：<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.eure.android.pairs>

株式会社エウレカについて

エウレカは、“人生に「あってよかった」と思ってもらえるものを。”をミッションとし、「かけがえのない人との出逢いを生み出し、日本、アジアにデーティングサービス文化を定着させる。」をビジョンに掲げ、日本で最も使われている※1恋活・婚活マッチングアプリ「Pairs」を展開しています。内閣府調査※3によると20~30代未婚者の約8割が結婚を希望する一方で、職場など生活の身近なところで出会う機会が減少し、未婚化・少子化が進行しています。そのような中、マッチングアプリは新しい出逢いの方法として受け入れられ、急速に市場拡大しています。

エウレカは2015年よりマッチングアプリで世界最大のシェアを獲得している米Match Groupに参画し、グローバルな知見を活かして国内の未婚化・少子化解決に寄与すべく事業を推進しています。

また、すでにサービスを展開している日本・台湾・韓国以外のアジア各地域にもサービスを広げ、更なるグローバルでのシェア拡大を目指しています。

※3 [平成26年度「結婚・家族形成に関する意識調査」報告書](#)

<会社概要>

会社名：株式会社エウレカ / Eureka, Inc. (NASDAQ上場のMatch Groupの一員として事業を運営)

所在地：〒108-0073 東京都港区三田1-4-1 住友不動産麻布十番ビル 4階

代表者：代表取締役CEO 山本竜馬

設立日：2008年11月20日

事業内容：恋活・婚活マッチングアプリ「Pairs」

<https://eure.jp/>